

沖縄県子ども計画（仮称）に対する子ども達の意見反映の取組について （「沖縄県へ子ども・若者の声を届けよう！」実施要領）

沖縄県子ども未来部
子ども若者政策課

【 アンケートに協力して頂く関係者（支援員等）の皆様へ 】

本県の子ども施策の推進に対し、ご理解とご協力を頂きありがとうございます。

今年度、沖縄県においては、令和5年4月より施行された「子ども基本法」に基づく都道府県計画として「沖縄県子ども計画（仮称）」を策定することとしており、社会の一番の宝であるすべての子ども達が生き生きと暮らせる社会の実現のために必要な支援策等を検討しているところです。

計画の策定にあたっては、その対象となる子ども達から広く意見を聴き、計画へ反映を検討することとしており、県は5月中旬から7月までの間、県内の各学校等において子ども達の意見表明、社会参画の場づくりを行い、県計画に係る子ども達の意見を聴いてまいりました。

さらに当該取組の一つとして、学校を通じて参画の機会を作ることが困難である場合や、意見表明する環境や手法に特別な配慮や工夫が必要な子ども達についても、日頃から当該子ども達へ寄り添い、支援をして頂いている関係者（支援員等）の協力を頂きながら、意見表明の場づくり（アンケート）を実施したいと考えております。

これまでの支援活動を通して培われた経験を活かしていただきながら、声を聴かれにくい、声を届けにくい子ども達の意見を当該アンケートを通して県に届けて頂けますよう、ご協力よろしくお願いいたします。

○アンケートの実施について

当該アンケートの実施にあたっては、下記手順1～3に従って進めてください。

手順1 子ども達へアンケートを行う趣旨を説明

アンケートを実施する前に、以下の点について子ども達へ説明をする。

- ①アンケートは、今年度県が策定する「沖縄県子ども計画」の策定にあたって実施するものであるということ。
- ②「沖縄県子ども計画」は、沖縄の一番の宝である子ども達が、生き生きと暮らせる社会を実現するために作る計画であり、計画を作るためには、計画の対象である子ども達の意見やアイデアが必要であるということ。
- ③県計画の対象となる子ども達がどんな応援（支援）を必要としているのかなど、自分の意見をアンケートを通して表明しよう。
- ④アンケートに答える前に、リーフレットを活用して「子どもの権利」について学んでみよう。

手順2 「子どもの権利」についての学習

アンケートに答える前に、「沖縄県子どもの権利を尊重し虐待から守る社会づくり条例」のリーフレット（見開きの左側のページ）を活用して、こども達と一緒に「子どもの権利」（4つの大切な子どもの権利）について学ぶ。

こども達には、4つの大切な権利のうちの「参加する権利」を活用して、今の自分に必要な支援（応援）や自分の意見を伝えるためにどんな仕組みが必要なのかなど、アンケートを通して自分の考えを表明してみよう、と説明する。

手順3 アンケートの実施

こども達と一緒にアンケートを始める前に、アンケート用紙の前段に記載されている「はじめに」の部分、こども達と一緒に確認してアンケートを実施する。

○アンケートの際の留意点

こども達のアンケートへ協力して頂くうえで、以下の点にご留意下さい。

1. こども達の意見に評価を付けたり、特定の意見を誘導するようなことがないようにお願いします。
2. こども達は、アンケートの途中で協力を辞退することも可能です。
3. こども達は、回答したくないと感じる質問に対して答えなくても大丈夫です。

○アンケートが終わりましたら

こども達のアンケートへ協力して頂いた関係者（支援員等）の皆様には、下記のとおり「調査票（支援員用）」の記入をお願いします。

1. 調査票は、アンケートに回答したこども一人に対して一枚ずつ作成。
2. 調査票には、アンケートに回答したこどもの通し番号を記入（例：〇〇児童館で5人がアンケートに回答したら、「〇〇児童館No. 1」から「〇〇児童館No. 5」までの調査票が作成される）。
3. 調査票は、アンケートとは別封筒（提出用封筒2（調査票用））に入れて、沖縄県宛の返信用封筒で提出。

沖縄県へこども・若者の声を届けよう！

（沖縄県こども計画（仮称）に対するこども達の意見反映の取組）

はじめに

このアンケートに回答するかどうかはあなたの自由ですが、みなさんの回答一つひとつが大切な意見です。

このアンケートは

1. 何を答えても間違いではありません。思ったことや考えたことを何でも書いて大丈夫です。
 2. アンケートには名前を書かないので、だれが言った意見かわからないようになっています。
 3. 話したくないことは話さなくて大丈夫です。
 4. このアンケートで答えたあなたの意見が計画に反映されるとき、別の言い方になったり、似ている意見とまとめられたりすることもあります。
 5. すべての意見が計画に反映されるとは限りません。
 6. みんなの意見がどうなったのか、後で県からお知らせ（フィードバック）します。
- 以上のことをふまえて、ぜひ協力をお願いします。

問1 あなたの住んでいる圏域を教えてください。

1. 沖縄本島北部圏域
2. 沖縄本島中部圏域
3. 沖縄本島南部圏域
4. 沖縄離島圏域

北部圏域	名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、恩納村、宜野座村、金武町
中部圏域	宜野湾市、浦添市、沖縄市、うるま市、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村、西原町
南部圏域	那覇市、糸満市、豊見城市、南城市、与那原町、南風原町、八重瀬町
離島圏域	宮古島市、多良間村、石垣市、竹富町、与那国町、伊平屋村、伊是名村、伊江村、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、久米島町

問2 あなたは何歳ですか？

（ ）歳

問3 あなたの性別を教えてください。

1. 男性
2. 女性
3. その他
4. 答えたくない

問4 現在、あなたががんばっていることやチャレンジしてみたいことはなんですか。



問5 今のあなたにどんな応援(支援)があったらうれしいですか。
次の中からあなたの考えにあてはまるものを選んでください(複数回答可)。

- | カテゴリー | 選択肢 |
|------------|--|
| 1 経済的 | <input type="checkbox"/> 一人暮らしの費用、引っ越し費用
<input type="checkbox"/> 運転免許費用
<input type="checkbox"/> 医療費
<input type="checkbox"/> 交通費
<input type="checkbox"/> 大学、専門学校等の進学費用、給付型奨学金
<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 特に必要ない |
| 2 居場所 | <input type="checkbox"/> いつでも利用できる居場所
<input type="checkbox"/> 他者と交流できる居場所
<input type="checkbox"/> 食事ができる居場所
<input type="checkbox"/> 学習サポートが受けられる居場所
<input type="checkbox"/> 宿泊型の居場所
<input type="checkbox"/> 居場所・支援先・各種支援窓口の情報
<input type="checkbox"/> 1対1で少しずつ場所になれるところから手伝ってくれる居場所
<input type="checkbox"/> 2～3人の少ない人数で活動できる居場所
<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 特に必要ない |
| 3 心理的なサポート | <input type="checkbox"/> 理解してくれる、気にかけてくれる人
<input type="checkbox"/> 寄り添ってくれる人
<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 特に必要ない |
| 4 相談 | <input type="checkbox"/> 困ったときに相談できる窓口（電話・SNSなど）
<input type="checkbox"/> アドバイスが受けられる
<input type="checkbox"/> いつでも相談できる人がいる
<input type="checkbox"/> 自分の体調や精神面についての相談ができる
<input type="checkbox"/> 支援や世話をしてくれる人が居なくなった後の生活の相談ができる
<input type="checkbox"/> 1回で終わるのではなく、週に1回や2週に1回など続けて相談ができる
<input type="checkbox"/> 家や家の近くなど、いつも生活している場所の近くで相談できる
<input type="checkbox"/> 日本語が苦手なので、自分がわかる言葉で相談できる
<input type="checkbox"/> 耳が不自由なので、手話の通訳の方と一緒に相談できる
<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 特に必要ない |

